

1 教科について

国語

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 79.7% 県平均 82.3%

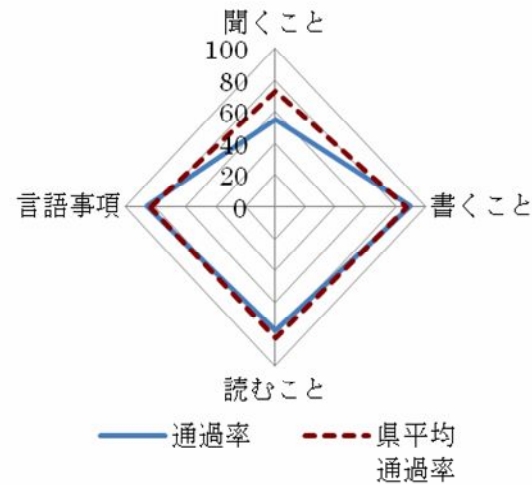
昨年度の課題

適切な語の選択。
段落相互の関係をつかむ(要点・キーワード)。
書くことにおける段落構成。
自分の立場や意図を明確にして、目的や意図が伝わるように話の組み立てを工夫して話す。
ローマ字・接続語。

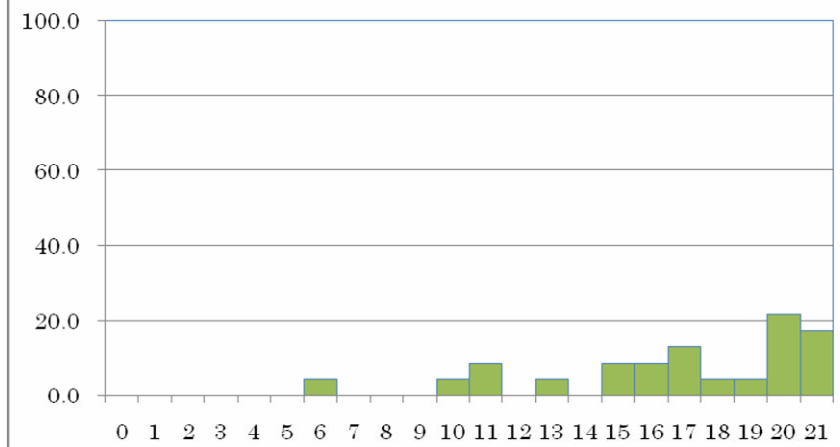
昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

低学年では、動作化やふき出しを活用して登場人物の心情を読みとらせる。中学年以降は、叙述に即して文中の言葉に着目させ、登場人物の心情を読みとらせる。
プレスタディー・本教材・リスタディーの単元構成による授業展開を図り、内容の中心・要点・要旨といった各学年でつけるべき力を確実につける。3分間ドリルで、くり返し学習し定着を図る。
低学年から徐々に構成メモを活用し、推敲する習慣をつける。低学年から自分の考えをはっきりさせ、整理して書くスキルトレーニングを行う。
資料や数値を根拠にして自分の考えを話したり、資料を提示しながら説明したりする学習を仕組む。
ローマ字は6年生まで継続して家庭学習で定着させる。接続語を使い書く活動を仕組む。

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)



重点課題 : 「基礎・基本」定着状況調査
: 全国学力・学習状況調査

要点の聞き取り
ローマ字の書き
場面の移り変わりや情景の想像

登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書く。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

ことばのスキルの再話をドリル朝会で行う。
日常的に要点をメモしながら聞く指導を行う。
ドリル朝会で定着を図る(3年生以上)
・eライブラリーの活用。
・ローマ字しりとりゲーム。
ローマ字を使う場の設定をする。(パソコン入力)
人物の行動と情景の変化について読み取る授業を創る。
読書をしっかりさせる取り組み(毎日の朝読書・家庭読書)を進める。

来年度の目標値

県平均を5ポイント上回る。

指導方法等の改善計画について

算 数

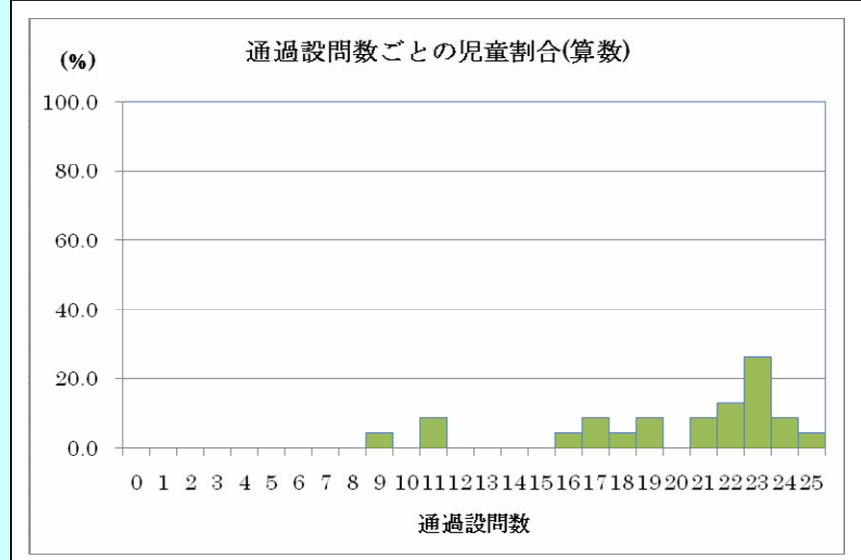
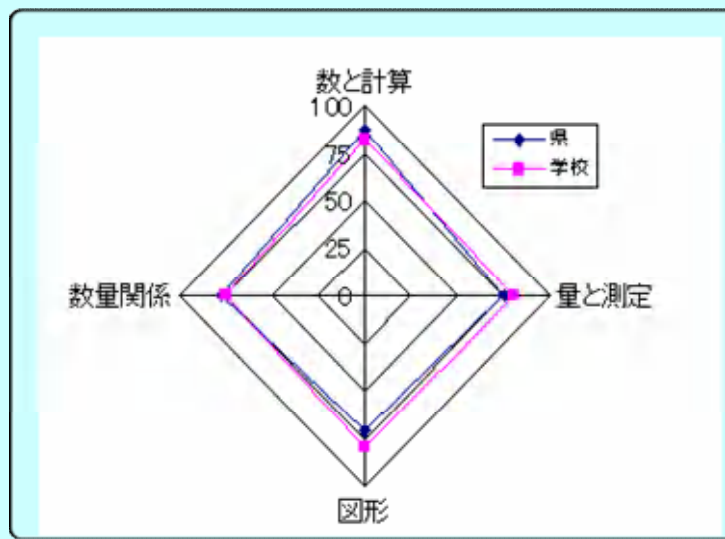
昨年度の課題

分数の意味
 あてはまる面積の単位（面積の量感）
 伴って変わる数量（変わり方の決まりを見つける）
 与えられた条件に合うものを選択する
 割合の大小の判断

昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

1 を単位量とする指導において、図に表す、半具体物に表す活動を全学年を通して、意図的に指導する。
 長さ・面積・体積等の量感をとらえさせるために、図に表したり、体験的な活動を取り入れたりする。
 図形の指導法を改善するために授業研究を行う。
 （2学期：2年，4年，特別支援学級）
 二つの数量の関係を言葉の式で表したり、式の意味の理解を深めるために二つの数量の関係を調べる活動を取り入れ、関数の考え方を伸ばす。
 「条件を書き出し整理する」「答えの根拠をノートに書く」「考えを説明する」学習を継続して指導する。
 「計算して割合を求める」「数直線で割合を表す」「グラフをかく」活動を取り入れる。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 79.3% 県平均 79.0%



重点課題 : 「基礎・基本」定着状況調査
 : 全国学力・学習状況調査

小数の加法
 四角形の定義・性質が分かる
 数量の関係を式で表す
 伴って変わる数量

 数量を等分してできる部分の大きさを分数で表わす。
 割合の基準量と比較量の関係

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

加法を減法で計算していた児童が大半だったので、日常的に集中して読ませ確かめ算をさせる。
 図形の定義から図形を特定する学習方法を取り入れる。図形の弁別の学習を行う。
 授業で2つの式を意図的に1つにさせる。常に簡潔な式に表せないか考えさせる。
 筋道を立てて考える力を高める（本年度の研究テーマ）授業改善を進める。
 分数の導入で具体物や半具体物を用い、分数の表し方を実感させる。
 割合の学習で意図的に割合の関係を図に表す授業を行う。

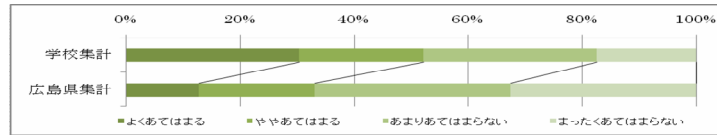
来年度の目標値

県平均を5ポイント上回る。

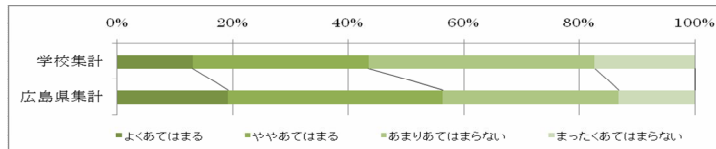
2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

「やりなさい」と言われるから勉強しています。



自分の良さは，周りの人から認められていると思います。

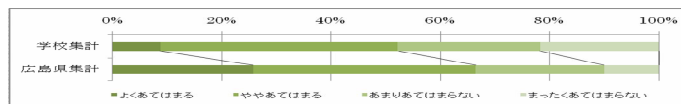


学習動機が他律的な児童が多い 自己効力感が低い。	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強の目的について話し合う。 ・学習したことが生活に生きていることを実感させる場面を設ける。 ・長期宿泊体験学習，グループ・エンカウンターで自分のよさを見つけさせる。 ・自己評価，他者評価を意図的に取り入れる。
-----------------------------	---

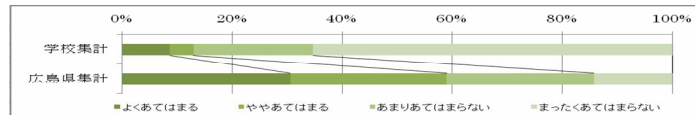
来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・学習動機が自立的な児童の割合を 70%以上にする。 ・自己効力感が高い児童の割合を 70%以上にする。
----------------	---

(2) 教科

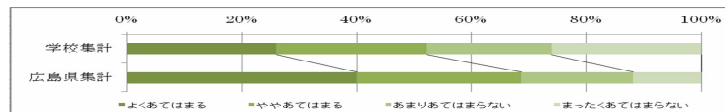
国語の勉強は好きです。



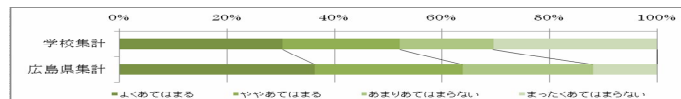
漢字などのくり返し学習が好きです。



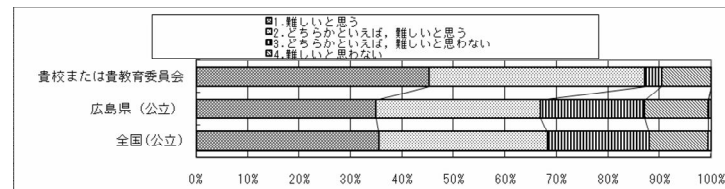
算数の勉強は好きです。



計算などのくり返し学習をするのが好きです。



書くことへの抵抗感



	児童の回答と学校の指導についての課題 (「基礎・基本」，「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国 語	国語への興味・関心が低い 漢字などの繰り返し学習が嫌い。 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室環境を整え，興味・関心を高める。 ・単元の導入を工夫する。 ・スモールステップの適切な評価を工夫する。 ・書く活動をどの授業でも取り入れ，抵抗感を減らすとともに，書くことへの興味を持たせる。
算 数	算数への興味・関心が低い。 計算などの繰り返し学習が嫌い。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室環境を整え，興味・関心を高める。 ・単元の導入を工夫する。 ・スモールステップの適切な評価を工夫する。

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への興味・関心が高い児童の割合を 70%以上にする。 ・繰り返し学習が好きな児童の割合を 70%以上にする。
----------------	--

指導改善のための実施スケジュール

	~ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
	Plan	Do				Check	検証	Action	Check	
	結果の分析・H2 1の改善計画の見直し H2 2の改善計画の実施							次年度の計画		
【教科】	改善計画作成	改善計画公表								
国語	3分間ドリルの実施 【国語】主述・文章構成 【算数】四則計算									
	ドリル朝会・がんばり学習の実施 eライブラリーの活用 国語（漢字・ローマ字・ことばのスキル「再話」）算数（未定着内容の補習）				朝読書・家庭読書					
算数	言語技術を活かした授業 ことばのスキル		上下学園合同授業研修会(上下北小)	上下学園学力向上部会授業研修						
	つきたい力を明確にし、単元構想を工夫した国語科授業改善					2学期まとめのテスト実施 (85%以上達成)		CRTテスト実施 分析と未定着内容への取り組み	年間の成果と課題の分析 次年度の計画	
	「筋道を立てて考える力を高める」算数科授業改善				校内授業研修 (1年 6年)	校内授業研修 (3年 特別支援学級)	校内授業研修 (2年 5年)			
	算数科授業研	校内授業研修(特別支援学級 4年)								
【生活・学習】	学校評価(中間報告) 成果と課題を明らかにし、2学期以降の改善策を明確にする。							学校評価 成果と課題を明らかにし、改善策を明確にする。		
	学校関係者評価 上下学園重点指導項目の取り組み	学校評価の保護者説明会 課題に対して家庭との連携を図る。 生活アンケート実施						学園内の成果と課題をまとめ、次年度の重点課題をたてる。		
			「早寝・早起き・朝ごはん」「テレビ・ゲームの短縮」「家庭読書」「家庭学習」に家庭の協力で取り組む							

